野辺山高原飯盛山観察会

2019.7.3

横浜駅東口に 6 時 50 分までに集合し、貸し切りバスで出発した。途中、談合坂サービスエリアに立ち寄ってトイレ休憩をとり、そのまま野辺山駅の脇を通り過ぎ、獅子岩のある平沢峠駐車場まで直行した。駐車場からすぐ向い側が登山口である。観察は駐車場の周りから始まっていた。

登山道に入るとすぐシモツケのピンクの花が出迎えてくれた。ハシバミやミヤマウグイスカグラなどの低木を見ながら進んでゆくと、ホソエカエデの果実や、リョウブとノリウツギの花が咲いていた。ミヤマニガイチゴやヤマツツジ、カンボクの花も観察しながら、徐々に高度を上げていくと、資料にあったオオイタヤメイゲツやオオモミジ、ウリハダカエデ、ウラジロノキなどを観察することができた。ヤグルマソウの群落を過ぎると、やや斜度が緩くなり、木道の上を歩くような湿った環境が現れた。ニワトコやイヌコリヤナギなどの灌木の下に、イブキトラノオやウマノアシガタ、ホソバテンナンショウ、ウツボグサなどが観察できた。山頂付近の草原に出ると、オオヤマフスマやアヤメ、グンナイフウロの花が咲いており、ニッコウキスゲの群落も見られたが、花には少し早いようであった。山頂下のやや広い場所で昼食をとり、一部の参加者は山頂まで往復したようだが、マツムシソウの花には少し早かったようである。

下りは同じ道を観察しながら下ったが、勝山先生からクロウメモドキとクロツバラの違いなどの説明を聞きながら平沢峠駐車場まで降りてきた。獅子岩周辺にイワキンバイの花が咲いているとのことで、皆で観察した。このあたりのニッコウキスゲは花が咲いていて見ごろであった。トイレ休憩の後、集合写真を撮り、バスで横浜駅西口まで帰り着いたのは 18 時過ぎであった。　　（難波昭雄　記）

参加者 35 名　観察指導：勝山輝男会長　担当：〇難波昭雄、田中徳久、五十嵐 愛

イブキトラノオ（タデ科）

ウツボグサ（シソ科）

グンナイフウロ（フウロソウ科）

ニッコウキスゲ（ワスレグサ科）